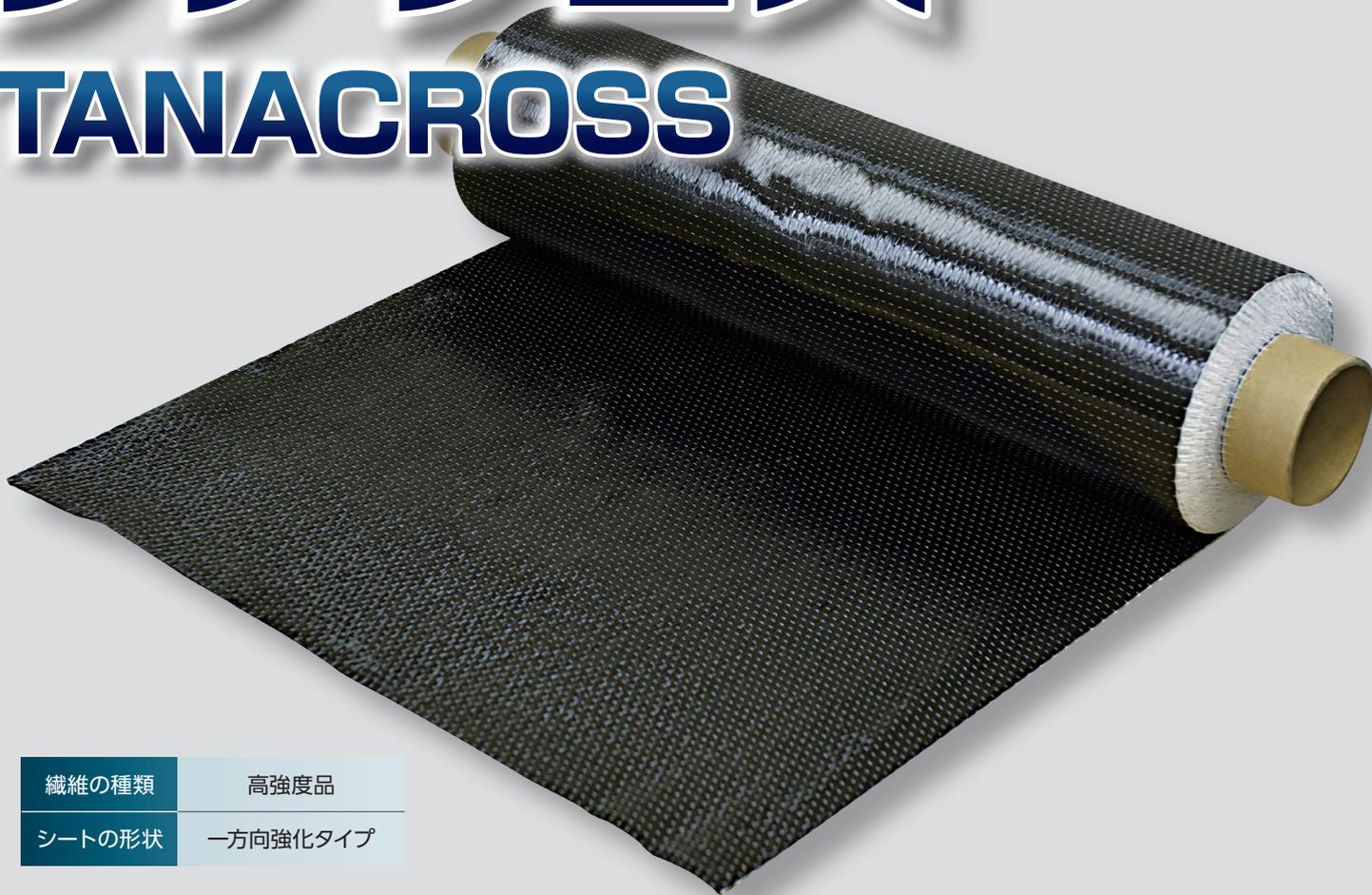


コンクリート補修・補強用炭素繊維シート

タナクロス

TANACROSS



繊維の種類	高強度品
シートの形状	一方向強化タイプ

用途

- 鉄筋コンクリートおよび鉄骨鉄筋コンクリート構造物の補修・補強
- コンクリートの剥落防止

適用箇所の例

- 道路橋や橋梁の橋脚・床版・桁
- 建築物の柱・壁・梁・桁・スラブ
- 煙突やコンクリート電柱
- トンネル

特長

優れた施工性、短工期

- 軽量であるため、人力施工が可能です。(比重が鋼材の1/4~1/5程度)
- 溶接作業が不要のため、火気を使用しません。
- 騒音や粉塵の発生が少量です。
- 現場で補強部材に合わせて裁断することができるため、事前の採寸や加工が不要です。
- シートが柔軟性に富んでいるため、コンクリート表面の形状に合わせて貼り付けることが可能です。

高い設計自由度

- 部材断面の増加がほとんど無いため、建築物の使用性に支障を与えません。
- 設計上、躯体重量の増加を無視することができます。
- せん断補強では部材の剛性がほとんど変化しないため、建築物の部材剛性のバランスにも影響を与えません。
- シートを同じ方向に重ね貼りすることによって、補強効果を高めることができます。
- シートを互いに直交方向に重ね貼りすることによって、二方向の補強が可能です。

高い耐久性

- 部材を包み込むことによってコンクリートの中性化を抑制します。
- 錆びないため、定期塗装などのメンテナンスをほとんど必要としません。

環境保全製品で、これからの土木工事を変えるー

Tanaka[®]

製品仕様

品番	炭素繊維 目付量 (g/m ²)	設計厚さ※1 (mm)	シート幅 (mm)	シート長さ (m)	引張強度※2 (N/mm ² 又は MPa)	ヤング係数 (引張弾性率) (kN/mm ² 又は GPa)	
						建築※3	土木※4
TAC-200	200	0.111	250 330 500	50	3400	230	245
TAC-300	300	0.167					
TAC-400	400	0.222	500				
TAC-450	450	0.250					
TAC-600	600	0.333					

※1 炭素繊維の密度を1.8g/cm³として算出

※2 含浸接着樹脂を含浸、硬化させた連続繊維補強材としての値

※2 (一財)日本建築防災協会「2010年改訂版 連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」における値

※2 国土交通省「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針 平成18年7月」における値

※2 (公社)土木学会「コンクリートライブラリー101 連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針」における値

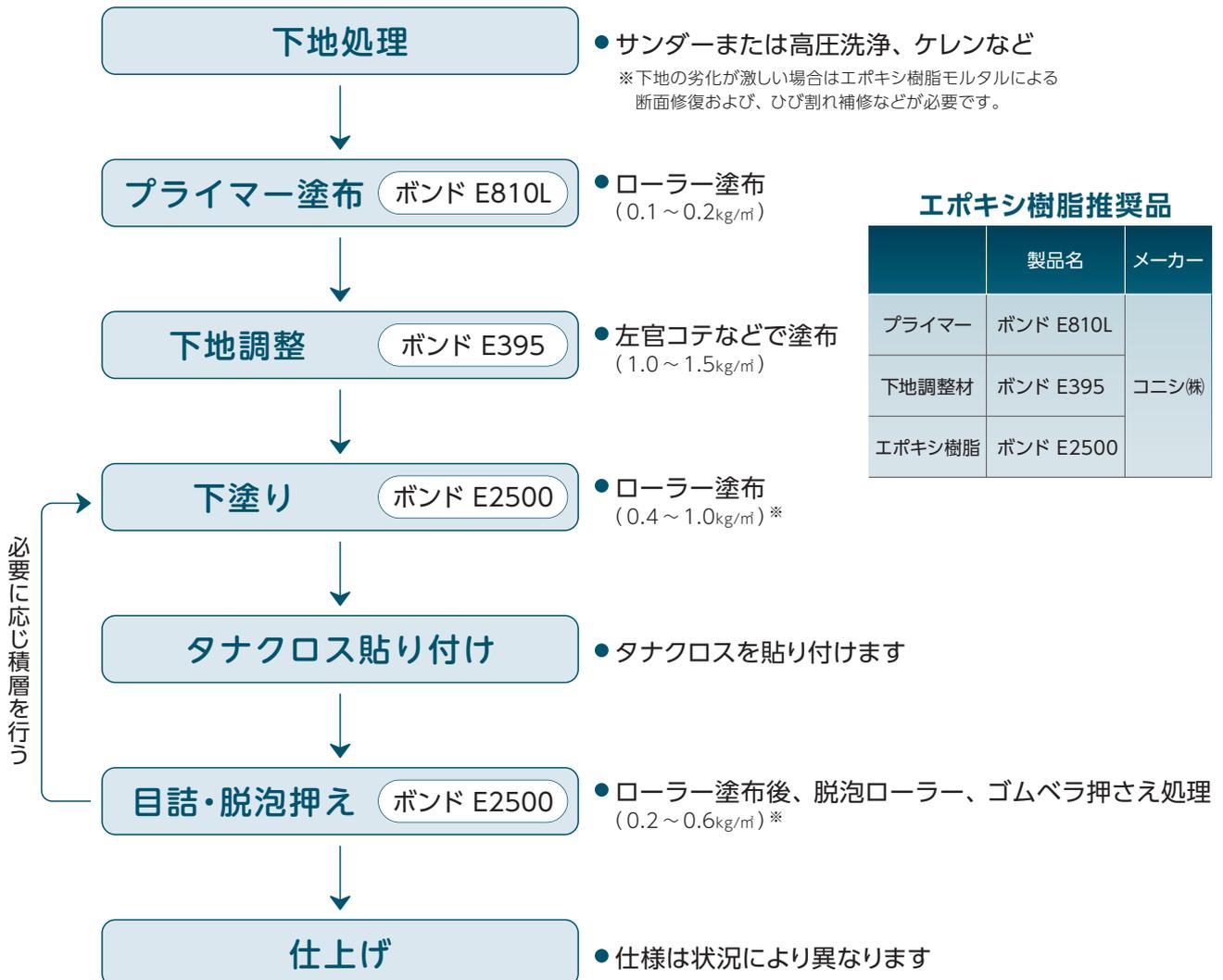
※3 (一財)日本建築防災協会「2010年改訂版 連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」における値

※3 国土交通省「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針 平成18年7月」における値

※4 (公社)土木学会「コンクリートライブラリー101 連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針」における値

※4 建設省土木研究所 構造橋梁部橋梁研究室/炭素繊維補修・補強工法技術研究会「コンクリート部材の補修・補強に関する共同研究報告書(III)」における値

施工手順例

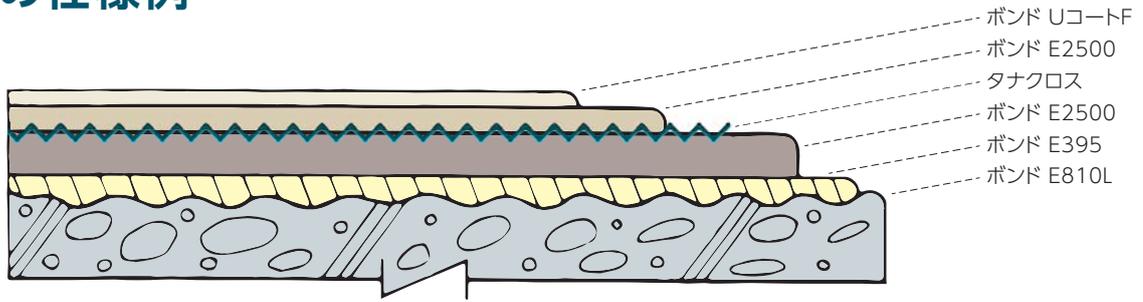


エポキシ樹脂推奨品

	製品名	メーカー
プライマー	ボンド E810L	コニシ(株)
下地調整材	ボンド E395	
エポキシ樹脂	ボンド E2500	

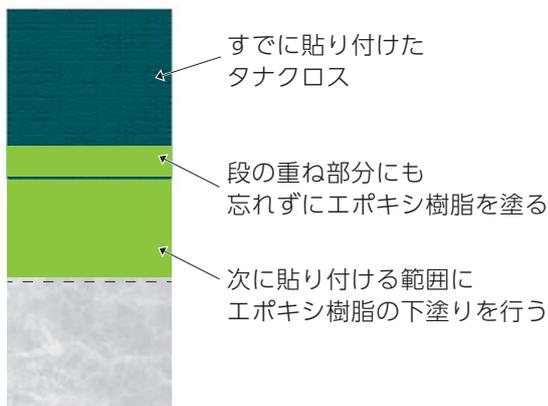
※塗布量はタナクロスの目付量によって変動します。

仕上げの仕様例

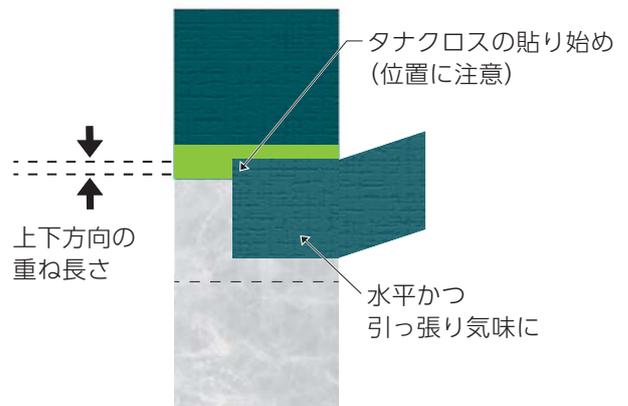


タナクロスの貼り付け作業手順(柱のせん断補強の場合)

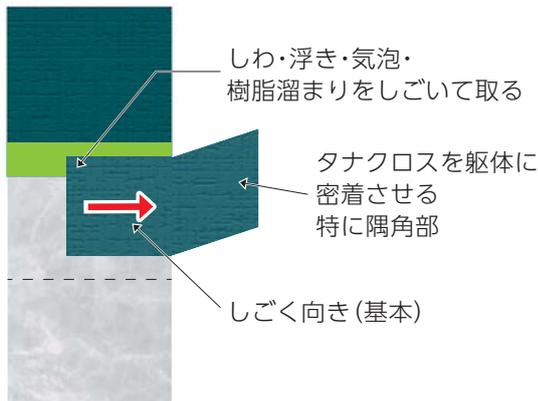
1 エポキシ樹脂下塗り



2 貼り付け始め



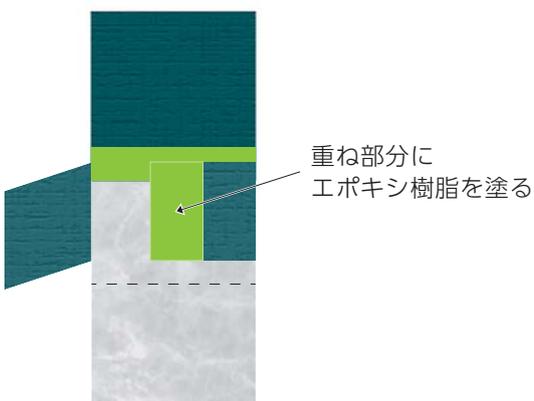
3 密着を図る



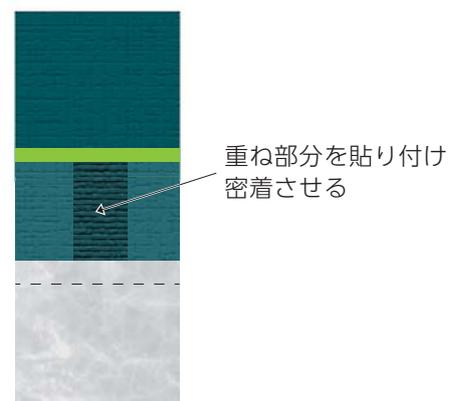
4 他の面の施工



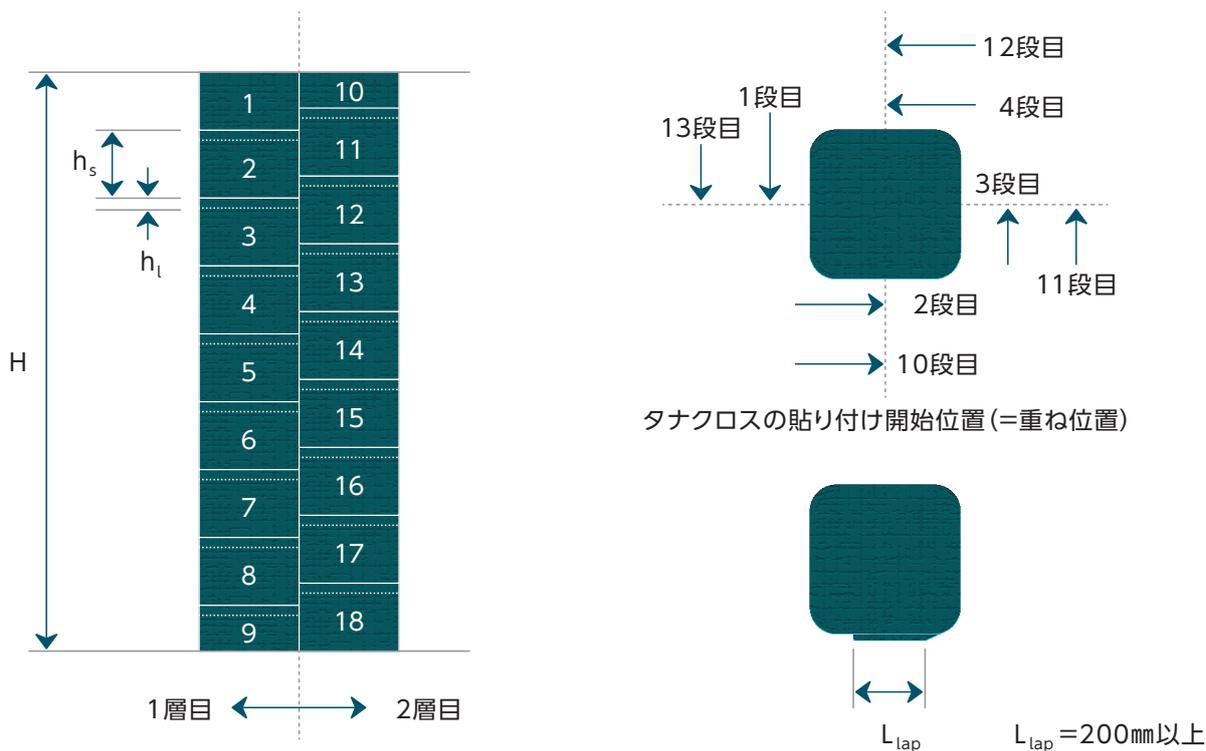
5 重ね部分の下塗り



6 重ね部分の貼り付け



タナクロスの割り付け図の例 (2層貼りの場合)



H : 柱内法高
 h_s : 補強材幅
 h_l : 段方向の重ね代
 L_{lap} : 重ね長さ

注) $h_s - h_l$ = 補強材1段の高さ



- | | | | |
|----------|--|------------------|------------------|
| ■ 本社・工場 | 〒595-0013 大阪府泉大津市宮町12番23号 | TEL.0725-32-5381 | FAX.0725-32-2605 |
| ■ 営業企画室 | 〒541-0042 大阪市中央区今橋4-3-6 淀屋橋NAOビル4F | TEL.06-6228-3070 | FAX.06-6228-3071 |
| ■ 札幌営業所 | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-25 メットライフ札幌北三条ビル7F | TEL.011-232-5241 | FAX.011-232-3880 |
| ■ 仙台営業所 | 〒981-1106 仙台市太白区柳生2-25-6 | TEL.022-242-0810 | FAX.022-242-7414 |
| ■ 東京営業所 | 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-16-7 ANNI東日本橋ビル8F | TEL.03-3861-1371 | FAX.03-3861-1372 |
| ■ 名古屋営業所 | 〒461-0001 名古屋市東区泉1-1-35 ハイエスト久屋4F | TEL.052-959-2601 | FAX.052-959-2603 |
| ■ 大阪営業所 | 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル11F | TEL.06-6536-2751 | FAX.06-6536-2752 |
| ■ 広島営業所 | 〒730-0801 広島市中区寺町5-27 パークヒルズ城南302 | TEL.082-532-7795 | FAX.082-292-2033 |
| ■ 福岡営業所 | 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-14-25 新幹線ビル2号館2F | TEL.092-471-5252 | FAX.092-471-5266 |

